

研修部報告

1点目は、第65回北海道小学校長会教育研究旭川大会について。

いよいよ明日、会同とオンラインによるハイブリッド形式で開催される。

今年度は分科会の充実を図るため、Zoomのブレイクアウトルームを活用したグループ討議も行う。初めての試みとなるが、会同による実施と変わらぬ成果を挙げることができるよう、大会役員並びに分科会における運営責任者・趣旨説明者等としてのお立場からのご協力をお願いしたい。今年度の確かな成果については、12月に発行する研究集録「小学校教育」59号にてお伝えしたい。

2点目は、全連小島根大会について。

9月6日に、皆様に道小事務所からメールで大会大綱が届いたことと思う。本大会は、一般の参加者は島根県には参集せずオンラインで参加することになった。

第6分科会では、小樽地区・小樽市立山の手小学校の日下部匡彦校長が、第9分科会では、檜山地区・江差町立江差北小学校の関田貴人校長がそれぞれ発表する。二人の発表者は東京の会場に会同して発表する予定である。詳細について決まり次第、道小事務所から皆様にお知らせする。

3点目は、教育改革等に関する調査について。

皆様のご協力により調査票の回収が終了し、全連小へ送付したところである。今後、全連小の各種委員会において分析を行う。調査結果は文部科学省との文教施策に関する要望等に活用される。調査結果の分析等については、全連小より3月に冊子となってお手元に届く予定である。

4点目は、道小ホームページに掲載される「各地区の研究活動」の原稿執筆依頼について。原稿執筆依頼を10月に行う予定である。この点を念頭におき、各地区の研究推進をお願いしたい。